

第 68 号

お茶の水女子大学学報

昭和 53 年 3 月 1 日

お茶の水女子大学庶務課

目 次

関係法令	1
学内規程	1
人 事	3
諸 報	4
日 誌(抄)	5

関 係 法 令

【告 示】

○昭和53年度科学研究費補助金(奨励研究(B))の研究計画調査書の提出期間を定める件(文部省告示第2号、1月11日官報)

学 内 規 程

○お茶の水女子大学規則第1号

お茶の水女子大学健康安全規程の一部を改正する規程を次のように定める。

昭和53年1月27日

お茶の水女子大学長 市 古 宙 三

お茶の水女子大学健康安全規程の
一部を改正する規程

お茶の水女子大学健康安全規程の一部を次のように改正する。

別記様式第3号職員健康診断票中「色神」を「色覚」に、「血圧・尿の検査」を「血圧・尿・肝臓機能検査」に改め、「呼吸器系結核の検査」の欄のうち「BCG」の欄を削る。

附 則

この規程は、昭和53年1月27日から施行し、昭和52年6月1日から適用する。

○お茶の水女子大学規則第2号

お茶の水女子大学学生会館規則を次のように定める。

昭和53年2月22日

お茶の水女子大学長 市 古 宙 三

お茶の水女子大学学生会館規則

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学学則第54条第2項の規定に基づき、お茶の水女子大学学生会館(以下「会館」という。)に関する事項については、この規則の定めるところによる。

(目的)

第2条 会館は、学生相互並びに学生・教職員間の親睦を深め、学生の教養を高め、課外活動を盛んにするとともに、学園生活を豊かにすることを目的とする。

(管理運営)

第3条 会館の管理運営の責任者は、学生部長とする。

2 会館に関する事務は、学生課において処理する。
(会館運営委員会)

第4条 会館の円滑な運営を図るため、お茶の水女子大学学生会館運営委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、会館に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、昭和53年2月22日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第3号

お茶の水女子大学学生会館運営委員会規程を次のように定める。

昭和53年2月22日

お茶の水女子大学長 市 古 宙 三

お茶の水女子大学学生会館運営委員会規程

(趣旨)

第1条 お茶の水女子大学学生会館規則第4条第2

項の規定に基づき、お茶の水女子大学学生会館運営委員会（以下「委員会」という。）に関する事項については、この規程の定めるところによる。

（審議事項）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 会館運営上の具体的な問題に関する事項
- 二 会館の使用計画に関する事項
- 三 会館の行事計画に関する事項
- 四 その他会館運営上特に必要と認める事項

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 各学部から選出された教官各2人
- 二 学生部長
- 三 学生代表6人

2 前項第1号及び第3号の委員は、学長が、任命又は委嘱する。

（任期）

第4条 前条第1項第1号及び第3号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員が欠員となった場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、第3条第1項第1号の委員の互選によって定める。

（委員長及び副委員長の職務）

第6条 委員長は、委員会の会務を掌理し、委員会を招集して、その議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

（会議）

第7条 委員会は、次の各号の一に該当する場合に招集し、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

- 一 委員長が必要と認めた場合
- 二 3分の1以上の委員から開催要求があった場合

（幹事及び事務）

第8条 委員会に幹事を置き、学生課長をもって充てる。

2 委員会の事務は、学生課において処理する。

（小委員会）

第9条 委員会に小委員会を置くことができる。

2 小委員会に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和53年2月22日から施行する。

○お茶の水女子大学規則第4号

お茶の水女子大学学生会館使用細則を次のように定める。

昭和53年2月22日

お茶の水女子大学長 市 古 宙 三

お茶の水女子大学学生会館使用細則

（趣旨）

第1条 お茶の水女子大学学生会館（以下「会館」という。）の使用については、この細則の定めるところによる。

（使用者）

第2条 会館を使用できる者は、次のとおりとする。

- 一 本学の学生及び教職員
- 二 その他お茶の水女子大学学生会館運営委員会の議に基づき、学生部長が特に認めた者

（開館時間）

第3条 会館の開館時間は、休館日を除き次表のとおりとする。

期 間	開 館 時 間
(1)4月1日から4月10日まで (2)8月1日から8月31日まで (3)12月26日から翌年1月10日まで (4)2月20日から3月31日まで	10時から 18時まで
(1)4月11日から7月31日まで (2)9月1日から12月25日まで (3)1月11日から2月19日まで	9時から 21時まで

（休館日）

第4条 会館の休館日は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- 三 創立記念日 11月29日
- 四 入学試験日及びその前日
- 五 8月10日から8月20日まで、12月28日から翌年1月4日まで及び3月25日から3月31日まで。

（使用手続）

第5条 次の各号に掲げる部屋を使用する場合は、所定の使用願を会館事務室に提出するものとする。

- 一 ホール（大集会室）
- 二 小集会室

- 三 和室
- 四 共用連絡室
- 五 小談話室
- 六 音楽休養室

(使用上の注意)

第6条 会館を使用する者は、次の各号に掲げる事項を厳守しなければならない。

- 一 使用時間を守ること。
- 二 許可された目的以外の用途に使用しないこと。
- 三 室内の諸施設、物品等を無断で移動、改廃及び新設をしないこと。
- 四 掲示類は、所定の場所以外に行わないこと。
- 五 使用後は、室内の清掃を行い、備品を原状に復する等施設の保全、清潔及び美化に努めること。
- 六 火気の使用、戸締まり及び電灯の点滅等については、細心の注意を払うこと。
- 七 会館内では飲酒しないこと。

(損害賠償)

第7条 会館を使用する者が、施設及び備品等を滅失又は破損した場合は、その損害を弁償しなければならない。ただし、特別の事情があるときは、その額を減免することがある。

(使用の禁止)

第8条 会館の使用を許可された者が、許可条件に違反するときは、学生部長は、その使用許可を取り消し、その者に対し、以後の使用を禁止することがある。

2 その他この細則に違反した場合は、以後の使用を禁止することがある。

附 則

この細則は、昭和53年2月22日から施行する。

◎お茶の水女子大学学生会館小委員会内規

(昭和53. 2. 22学長裁定)

(設置)

第1条 お茶の水女子大学学生会館運営委員会(以下「運営委員会」という。)規程第9条第1項の規定に基づき、お茶の水女子大学学生会館小委員会(以下「小委員会」という。)を置く。

2 小委員会に関する事項については、この内規の定めるところによる。

(目的)

第2条 小委員会は、運営委員会の方針に基づき、次の各号に掲げる事項を実施する。

- 一 運営委員会に提出する原案の作成に関すること。
- 二 主要行事の企画及び実施計画案の作成に関すること。
- 三 行事の実施に関すること。
- 四 会館使用の調整に関すること。
- 五 会館の環境整備に関すること。
- 六 その他必要な事項

(組織)

第3条 小委員会は、運営委員会規程第3条第1項第3号の委員をもって組織する。

(委員長及び副委員長)

第4条 小委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の中から互選する。

2 委員長は、小委員会を招集し、その議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 小委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって議決する。

(委員以外の出席)

第6条 委員長は、必要があると認めたときは、小委員会の同意を得て委員以外の学生を出席させることができる。

(顧問)

第7条 小委員会活動の助言に当るため、顧問を置く。

2 顧問は、運営委員会規程第3条第1項第1号の委員の中から運営委員会において選出する。

(報告・承認)

第8条 委員長は、小委員会が決定した事項の実施にあたっては、その都度、運営委員会の承認を得るとともに、実施後は、速やかに報告しなければならない。

附 則

この内規は、昭和53年2月22日から施行する。

人 事

◎人事異動

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(昇 任)			
53. 1. 1	文部教官(助教授 文教育学部)	杉本正哉	教授 文教育学部に昇任させる
53. 1. 16	文部教官(東京大学 助手 物性研究所)	富永靖徳	助教授 理学部に昇任させる
53. 2. 1	文部教官(助教授 文教育学部)	平野 孝	教授 文教育学部に昇任させる
"	文部教官(助教授 文教育学部)	大口勇次郎	教授 文教育学部に昇任させる
(併 任)			
53. 2. 16	文部教官(教授 理学部)	太田次郎	附属図書館長に併任する 併任の期間は昭和55年2月15日までとする
"	文部教官(教授 理学部)	太田次郎	女性文化資料館長に併任する 併任の期間は昭和55年2月15日までとする
(辞 職)			
53. 1. 31	文部事務官(附属図書館)	谷口美也子	辞職を承認する

◎非常勤講師

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
53. 2. 1		大曾根章介	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		藤井 公	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		米山文明	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		山根常男	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		斎藤 望	講師(理学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
53. 2. 16		小野信幸	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする

(併 任)			
53. 2. 1	保健管理センター教授	奥野 剛	講師(家政学部)に併任する 併任の期間は昭和53年3月31日までとする
"	文部教官(東京大学教授)	荒 松 雄	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和53年3月31日までとする
"	文部教官(東京農工大学助教授)	小原嘉門	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和53年3月31日までとする

◎非常勤職員

発令年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
(採 用)			
53. 2. 1		田中和子	事務補佐員(学生課)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		竹内弘子	事務補佐員(入学生幹付)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		村本俊雄	事務補佐員(附属図書館)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		荒井美代子	臨時事務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
53. 2. 16		小谷彩子	事務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
"		小林玲子	"
"		稲葉照美	技能補佐員(文教育学部附属小学校)に採用する 任期は昭和53年3月31日までとする
(配置換)			
53. 1. 1	教務補佐員(家政学部)	長本博美	教務補佐員(理学部)に配置換する 任期は昭和53年3月30日までとする
(任用更新)			
53. 1. 1	教務補佐員(文教育学部)	平川紀美子	任用を更新する 任期は昭和53年3月31日までとする
(辞 職)			
53. 2. 15	教務補佐員(家政学部)	長野新子	辞職を承認する

諸

報

○ 海外渡航

所 属 ・ 職 名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
附属小学校 教 諭	阿久沢 栄太郎	アメリカ合衆国 (グアム島・サイパン島・ヤップ島)	ミクロネシアの植物 調査のため	53. 1. 2 53. 1. 6	研 修

○ 昭和53年度文部省在外研究員派遣予定者の決定について

昭和53年度文部省在外研究員派遣予定者が、次のとおり決定した。

決定番号	学 部 学 科	職 名	氏 名	年 令	主たる滞在地名及び当 該滞在地の属する国名	調 査 研 究 題 目	派 遣 期 間
53-甲-96	理 学 部 物 理 学 科	助教授	柴 田 文 明	オ 35	シュツットガルト (西 ド イ ツ) シュツットガルト大学	非平衡量子統計力 学	12ヶ月
53-甲-97	文教育学部 外国文学科	助教授	石 川 宏	41	パ リ (フ ラ ン ス 共 和 国) パ リ 大 学	19・20世紀フラン ス小説研究ならび に仏語教授法調査	12ヶ月
53-短-74	文教育学部 教育学科	教 授	藤 永 保	50	サンフランシスコ (ア メ リ カ 合 衆 国) スタンフォード大学	認知発達と文化的 要因	2ヶ月

○ 新任者住所

○ 住所変更

○ 住居表示変更

10日(火) 大学院理学研究科(修士課程)第2次
20日(金) 入学願書受付
11日(水) 大学院人間文化研究科会議
12日(木) 学生委員会、附属小学校教育実習開始、
部局長会議
13日(金) 保健管理センター運営委員会、昭和52
年度国立大学学生部・国立高等専門学校
校学生課長事務連絡会議(於全国町村
会館)
18日(水) 館山施設計画委員会、研究科委員会
(人文科学・理学)、各学部教授会
18日(水) 第15回関東地区中堅係員研修(於大手
27日(金) 町合同庁舎)
19日(木) 入試委員会、部局長会議
20日(金) 事務改善研究委員会、学生会館臨時運
営委員会、極低温実験室運営委員会
(持廻り)
23日(月) 教職員の肝臓機能検査(附属学校教官
対象)
24日(火) 百年史編集委員会
25日(水) 評議会、教職員の肝臓機能検査(附属
学校教官対象)
26日(木) 入試委員会小委員会
27日(金) 学寮委員会、学寮協議会、大学院人間
文化研究科(博士課程)入学願書受付
開始(2月3日まで)
30日(月) 教職員の肝臓機能検査(文教育学部教
官対象)
31日(火) 昭和52年度国立大学学生部長会議(於
虎の門共済会館)
2月1日(水) 学生会館臨時運営委員会、附属図書館

日 誌 (抄)

1月4日(水) 御用初め、賀詞交換会、部局長会議
10日(火) 冬季休業終、事務連絡会議
10日(火) 大学院家政学研究科(修士課程)及び
18日(水) 家政学部編入入学願書受付

運営委員会、教職員の肝臓機能検査
(文教育学部教官対象)

1日(木) 学部入学願書受付、大学院人文科学研究

10日(金) 究科(修士課程)入学願書受付

2日(木) 大学院理学研究科(修士課程)第2次

3日(金) 入試

6日(月) 大学院人間文化研究科会議、教務委員会、
教職員の肝臓機能検査(理学部及び
家政学部教官対象)

7日(火) 事務連絡会議

8日(木) 一般教育委員会、理学研究科委員会、
理学部教授会、大学院家政学研究科
(修士課程)及び家政学部編入学入試、
教職員の肝臓機能検査(理学部及び家
政学部教官対象)

9日(木) 学生委員会、学生連絡協議会、附属学
校運営委員会、附属小学校教育実習終
了、日本育英会奨学金の厚生課での最
終交付(昭和53年度から銀行振込とな
る。)、部局長会議

10日(金) 事務連絡会議、人事事務監査(文部省)

13日(月) 教職員の肝臓機能検査(事務系職員対
象)

13日(月) } 学期末試験

18日(土) }

14日(火) 入試委員会

15日(木) 大学院家政学研究科(修士課程)及び
家政学部編入学入試判定会議、教授会
(文・家)、教職員の肝臓機能検査(事
務系職員対象)

16日(木) 大学院家政学研究科(修士課程)及び
家政学部編入学入試合格者発表、東京
地区国公立大学入学主幹・入試担当課
長会議(於東京医科歯科大学)、部局長
会議

16日(木) } 大学院人間文化研究科(博士課程)入
18日(土) } 試

17日(金) 廃水管理委員会

18日(土) 第24回東京地区国公立大学連合文化会
(美術部門)第2回委員会(於東京外
国語大学)

20日(月) 教育実習委員会

20日(月) } 外国人留学生見学旅行(伊勢・志摩)
22日(水) }

21日(火) } 大学院人文科学研究科(修士課程)入
22日(水) } 試

22日(木) 評議会、保健管理センター運営委員会

24日(金) 大学院人間文化研究科会議、学生委員
会、学寮委員会、学寮協議会

25日(土) 大学院人間文化研究科(博士課程)入
試合格者発表、第2回東京地区国公立
大学入学主幹・入試担当課長会議(於
東京大学)

27日(月) 一般教育委員会建物小委員会、大学院
人文科学研究科委員会、家政学研究科
(修士課程)修了及び家政学部卒業判
定会議、教授会(文・家)

28日(火) 理学研究科委員会、理学部教授会